

第4章

『計画の推進』

1. 推進体制

本計画の推進にあたっては、行政機関や観光事業推進組織、観光関係事業者はもとより、地域住民、一般事業者とその他団体など、地域を構成している全ての人たちの参画が不可欠です。それぞれがその得意分野を活かし協働による観光振興の推進が、持続可能な観光と交流によるまちづくりの基盤となっていくます。

【1. それぞれの役割】

（1）地域住民の役割

地域住民は、本計画の中心的な役割であると考えます。地域を深く知り、地域に誇りを持ち来訪者（お客様）をもてなし、地域の魅力を発信するなど、観光と交流によるまちづくりに参画する役割を担います。

（2）観光事業推進組織の役割

観光事業推進組織は、本市の観光事業のまとめ役として、観光PRやプログラムの開発、地域資源の発掘や地域間連携のコーディネートなど、行政や地域住民、各種事業者や団体を繋げる役割を担います。

（3）観光関係事業者の役割

観光関係事業者は来訪者（お客様）と最も近くで向き合い、観光振興の最前線に対応する役割であると考えます。これまでの慣例や不足している、また足りないものに注視するのではなく、本当の顧客満足とは何か、自分達のできることを考えたおもてなしを提供する役割を担います。

（4）一般事業者とその他団体の役割

企業や一般団体、商工会議所や商工会、経済開発同友会などの地域経済団体、農業団体や文化関係・スポーツ関係団体等は、観光振興事業へ積極的にかかわりを持ち、自分達ができることを常に意識して協働の観光と交流によるまちづくりの一翼を担います。

（5）行政の役割

本計画の推進にあたって、人的・財政的支援などの基盤整備を行うとともに、観光と交流によるまちづくりの牽引役として参画する関係者を常に支えていきます。また、組織内の情報交換を密にして効率的・効果的な事業の推進にあたります。

【2. 人材の育成】

「事業は人なり」といわれますが、観光振興においても例外でなく、観光と交流によるまちづくりで成功している地域には、地域リーダーの存在が不可欠です。観光と交流によるまちづくりには、観光振興やまちづくりに関する様々な見識と多様な主体との連携・協働、そして持続的な取り組みが求められます。

今後も持続可能な観光と交流によるまちづくりを推進する為に、その推進を担うリーダーや観光によるまちづくりをプロデュースしていく多様な人材を育成する必要があります。

ステップ① 観光まちづくりプロデューサー育成研修の実施

ステップ② 観光まちづくりプロデューサーを認定

ステップ③ 観光まちづくりプロデューサーの人材バンク化、ネットワーク化

ステップ④ 観光まちづくりプロデューサーを中心とした実践コミュニティの活動推進

【3.観光まちづくりプロデューサー育成と実践コミュニティづくりのイメージ】

